令和８年度　第２回　魅力ある市立高等学校づくり懇談会

日時　令和８年９月７日（月）１２：４５～

場所　名古屋市役所本庁舎　正庁

１　開会

２　出席者紹介

３　教育委員会挨拶

４　懇談

・第１回懇談会意見まとめ

・市立高校改革の方向性

普通科改革
専門学科改革
総合学科改革
定時制改革
学びを支えるしくみ

５　その他

６　閉会

魅力ある市立高等学校づくり懇談会 委員名簿

氏名 （敬称略）	所属
久野　弘幸	中京大学教養教育研究院　教授
柴田　好章	名古屋大学大学院教育発達科学研究科　教授
伊藤　恭彦	名古屋市立大学　理事・副学長
加納　澄江	愛知県教育委員会　教育部長
平井　由紀子	株式会社セルフウイング　代表取締役社長 博士（早期起業家教育） （文部科学省　アントレプレナーシップ推進大使）
九鬼　綾子	ミックインターナショナル株式会社　代表取締役 （中部経済同友会 教育を考え行動する委員会 委員長）
青木　総平	名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会　会長
林　深雪	名古屋市立高等学校ＰＴＡ協議会　会長
加賀　幸一	名古屋市立東桜小学校　校長
久木田　隆宏	名古屋市立菊里高等学校　校長
森　義裕	名古屋市立植田北小学校　教諭
加藤　司	名古屋市立工芸高等学校　教諭

懇談会の進め方

第１回懇談会【７/２２】

＜議題＞※総論

〇市立高校の役割

〇市立高校の目指す教育

〇持続可能な体制づくり

第２回懇談会【9／7】

＜議題＞※各論

〇普通科の方向性

〇専門学科の方向性

〇総合学科の方向性

〇定時制の方向性

〇学びを支えるしくみ

（学校間連携、通信制、中高一貫校、学びの多様化コースなど）

第３回懇談会【１０／１３予定】

＜議題＞※総括

〇懇談会議論のまとめ



魅力ある
市立高等学校づくり
懇談会

第２回

1 第１回懇談会　意見まとめ

主な意見

テーマ１：市立高校の役割

- 国際都市名古屋のものづくりや起業を支える人材育成
- 地域の産業を支えイノベーションを起こせる人材の育成
- 名古屋市が重点的に行っている施策に貢献できる人材育成
- 市への愛着を育む教育の実施
- 市外に出た生徒が名古屋に関わり続ける「関係人口」を増やす視点
- 市内の進学ニーズに応え、全体の教育水準を向上させる役割

テーマ２：市立高校の目指す教育

- 10年後、20年後の名古屋の都市像を見据えた教育プログラムが必要
- 学びのコンパスをベースにした教育
- 各校が特色を活かしながら、学校横断的に学べる仕組み
- 多様な学びのスタイルの中で良き学び手に育成
- 学校外のつながりからの学びを充実させるため、地域資源を活用した教育活動が重要

テーマ３：持続可能な体制づくり

- 各校の文化を発展させる未来志向の視点で、魅力を高める前向きな再編と捉えるべき
- 再編で校数は減っても知の総和が増えるような機能拡充ができるとよい
- 前向きな再編の要素として、施設・立地等のハード面、未来性を持った教育
- 内容、継承と発展を考慮した名称が考えられる

その他：市立高校の特色など

- 自由闊達な気風、教員・生徒の距離の近さ
- 教員間・学校間のネットワーク
- 立地・都市性：産業の集積、大学の多さ
- 各校の特色ある取り組み・魅力を保護者や生徒へ具体的・効果的に発信する必要がある

2 市立高校の役割等　考え方の整理

市立高校の役割

名古屋市の発展を支える人材育成の基盤

〇都市の発展、市の重要施策の実現
〇名古屋で活躍する人材、名古屋に関わり続ける人材の育成

生徒の多様な進路へのニーズに応える

〇多様な学びのスタイルの提供
〇教育の質・機会の確保

生徒育成の基本理念

ナゴヤ学びのコンパス

〇自分に合ったペースや方法で学ぶ
〇多様な人と学び合う
〇夢中で探究する

育成したい資質

〇自らの学びと進路を主体的に探究し切り開く力
〇多様な他者とともに学び、協働して課題を解決する力
〇未来を創造し、イノベーションを起こせる力
〇地域・社会とのつながりを大切にし、貢献する力

3 市立高校改革の方向性　改革のビジョン

第１回懇談会のご意見を踏まえ、改革の方向性として３つのVisionを設定

Vision1　都市の発展を実現する「戦略的な教育拠点」

➤都市の発展（国際化・デジタル化・先端技術など）の基盤となる教育
➤名古屋を拠点に世界へ飛躍する人材の育成

Key Word
グローバル　理数教育　高大連携　IoT　DX　ロボティクス　データサイエンス

Vision2　名古屋の産業・文化を支える「人材育成拠点」

➤地域経済・産業と教育の接続
➤市だからできる地域密着型の連携
➤社会と直結する実践的・探究的な学び

Key Word
地域連携　企業連携　アントレプレナーシップ　マーケティング　価値創造

Vision3　多様な生徒を包摂する「都市型教育の中核」

➤学力、経済状況、国籍、進路志向など、多様な背景への対応
➤単なる受け皿ではなく、多様性を価値に変える教育拠点

Key Word
探究　多様性　単位制　通信制　定時制

3 市立高校改革の方向性　改革のビジョン

３つのVisionを踏まえながら、以下の①～⑤のカテゴリ別に改革の方向性を検討

① 普通科改革 ② 専門学科改革 ③ 総合学科改革 ④ 定時制改革	各学校の改革（魅力化・再構築）の検討
⑤ 学びを支えるしくみ	市立高校全体の魅力向上、新たなしくみの検討

- **Vision1** 都市の発展を実現する「戦略的な教育拠点」
- **Vision2** 名古屋の産業・文化を支える「人材育成拠点」
- **Vision3** 多様な生徒を包摂する「都市型教育の中核」

3 市立高校改革の方向性　① 普通科改革

テーマ・課題

➤各学校の特色・役割の明確化
➤多様なニーズ・個に応じた学びへの対応

想定される学校像

グローバル型　理数特化型　情報・デジタル型
探究重視型　地域連携型

改革の方向性

➤新学科への改編・新設、コースの設定、単位制の導入　など

3 市立高校改革の方向性　① 普通科改革

他都市参考事例

グローバル　広島県立 **広島叡智学園**

広島県が「学びの変革」アクションプランのモデル校として、2019年に設立した、**国際バカロレア（IB）**を一貫履修する**全寮制併設型中高一貫校**。教科の内容学習と外国語学習を同時に行う**CLIL型**の教育。**海外大学**への進学が多い。

デジタル　千代田区立 **九段中等教育学校**

独自開発した校内**生成AIの活用**に加え、情報Ⅱを中心としたプロジェクト型学習やクラウドを活用した協働学習を展開。3Dプリンタやプログラミング環境等を活用した**実践的な教育DX**により、課題解決力と価値創造力の育成を進めている。

地域連携　京都市立 **開建高等学校**

ルミノベーション科（『Lumin…ラテン語のLumen(光)が語源』と『innovation…革新』を組み合わせた造語。）
地域社会を学ぶのではなく**“地域社会で学ぶ学科”**。
各分野の**プロの方との対話・協働**による体験的・実践的な学びを行う。

理　数　北海道立 **札幌啓成高等学校**

普通科と理数科を設置。**大学や研究機関等と連携**した研究活動、海外校との**国際共同研究**、フィールドワーク、**サイエンス英語**など**多彩な実践プログラム**を展開。教科横断型の学びを通じて、世界で活躍する科学人材を育成。

探　究　京都市立 **堀川高等学校**

ゼミナール形式の授業、いわゆる探究型授業を全国に先駆け導入。専門学科として「**探究学科群**」を設置。自らが設定した課題について探究する学びにより、**探究型学習と進路実現を両立**。（令和9年度からは普通科を廃止し探究学科群単独校へ改編予定）

は、政令指定都市等の地域内に所在し、立地条件が本市と近いもの

3 市立高校改革の方向性　② 専門学科改革

テーマ・課題

➤社会の変化に対応した専門性・創造性を持つ人材の育成
➤実社会との接点の強化・実践力の向上

想定される学校像

都市型ビジネス（マーケティング、アントレプレナーシップ等）
次世代ものづくり（ＤＸ、ロボティクス、ＩｏＴ等）

改革の方向性

➤現代的ニーズに基づく学科への再構築
➤高大連携の強化、企業等とのパートナーシップ

3 市立高校改革の方向性　② 専門学科改革

他都市参考事例

ビジネス　大阪府立
大阪ビジネスフロンティア高等学校

「グローバルビジネス科」を設置し、**英語とビジネス、ICTを融合した専門教育**を展開。**高大接続科目**による大学水準の授業など、**大学や産業界と連携**して高校・大学7年間を見通した「高大接続」教育を行う。大阪の**新産業創造**を担い、起業の精神にあふれ、**国際社会で活躍する高度な専門性**を備えた人材を育成する。

ものづくり　静岡県立 **浜松工業高等学校**

ＡＩやロボティクス、起業手法を学びながら、**地域企業の課題解決**に取り組む実践的な教育が特徴。生徒は「**仮想会社**」の運営や製品開発、特許出願、ピッチ発表などを通じて、技術力に加え社会課題を解決する力や**起業家精神**を養う。

ビジネス　大阪府立 **淀商業高等学校**

学校設定科目「アントレプレナーチャレンジ」では、生徒が**グループごとに模擬会社**を設立。市場調査からビジネスプラン作成、役職（社長・経理など）の決定、仕入れ、販売までを体験。年末には地域に開かれた大規模販売実習を開催し、最終的に決算、株主総会までを実施。また、**他校と合同で株式会社を設立**し、商品開発・販売に挑戦するなど、起業家精神と実践力を育成。

ものづくり　岡山県立 **高梁城南高等学校**

ものづくり系の専門高校では全国初の取り組みとして、地域と連携し**株式会社を設立**。地域の大人や卒業生が出資し、運営は高校生たちに委ね、生徒の企画や探究プロジェクトを実際に商品化・サービス化・販売・収益化することを目指す。電気・デザイン・環境科学の専門教育を生かし、生徒が**地域課題の解決や商品開発、事業運営に主体的に関わる実践的な学び**が特色。

3 市立高校改革の方向性　③ 総合学科改革

テーマ・課題

➤現代的ニーズや地域の発展に資する特色
➤生徒のキャリア形成を支援する、より主体的に学べる環境づくり

想定される学校像　探究重視型　地域連携型

改革の方向性

➤生徒の進路志向、市の重点施策等に応じた新たな系列の設置
➤地域や企業等と連携した実践的な学びの強化

3 市立高校改革の方向性　③ 総合学科改革

他都市参考事例

福岡県立 **ありあけ新世高等学校**

多彩な系列・科目群から自分だけの学びを設計できる。商業・情報・農業・看護・福祉に加え、**地域文化や芸術科、ハングルなど特色ある科目**を選択可能。また、地域と協働する探究活動では、**実社会の課題**をテーマに**調査・提案・発信**までを行い、教科横断的な学びを展開。生徒が「人生のプロデューサー」として自己の強みや将来像を探究し、主体的な進路選択につなげるキャリア教育が特色。

千葉県立 **小金高等学校**

「ミスマッチのない大学進学」を掲げる、**進学を重視した総合学科**。人文社会、文理学際、数理科学、医薬医療系列から進路に応じて学びを深め、多彩な選択科目や高大連携、探究活動を通して主体的な進路形成と大学進学を支援している。

3 市立高校改革の方向性　④ 定時制改革

テーマ・課題

➤生徒の多様な背景・多様化するライフスタイルへの対応

想定される学校像　定時制フレキシブルハイスクール

改革の方向性

➤生徒の事情に応じた多様な学び方を可能とするよう、学習機会・方法の拡充（柔軟化）　３部制への移行、通信制との連携　など

3 市立高校改革の方向性　④ 定時制改革

他都市参考事例

東京都立 **立川緑高等学校**

三部制・単位制・総合学科を活かし多様な生徒を柔軟に受け入れるチャレンジスクール。生徒の個性・居場所・自立を大切にしたキャリア教育を推進し、地域連携による実践的キャリア教育を通じ、再チャレンジと自立を支える**新たな公立教育モデル**を構築。

愛知県立 **豊野高等学校**

全日制・昼間定時制・通信制の三課程を一つの学校内に置き、**課程間をフレキシブルに行き来**しながら学ぶことができる、新しいタイプの学校「フレキシブルハイスクール」。

静岡県立 **ふじのくに国際高等学校**

三部制・単位制を採用。多様な進路希望に対応するため、一般的な教科に加えて商業、家庭、体育、美術、書道等の専門教育に関する選択科目を用意するなど、個別最適な学習機会を提供。**探究学習**を重視し、また、**国際バカロレア（IB）のワールドスクール認定**を受け、世界水準の教育も実施。

3 市立高校改革の方向性　⑤ 学びを支えるしくみ

テーマ・課題

各学科の改革の効果をさらに高める拡充策や、市立高校全体の魅力化につながる新しいしくみを検討する。

改革の方向性

➤多様な学び方の提供、誰もが主体的に学べる環境整備
➤市立高校のコンパクトな全体規模を活かした制度設計

想定される取り組み

- **学校の枠を越えた学びの強化**
  他校授業の履修（共通履修タイム等）、共同プロジェクト、遠隔教育など
- **通信制の導入、活用**
- **学びの多様化学校（多様化コース）**
- **中高一貫校の検討**
  学力向上重視ではない課題対応型の学校

3 市立高校改革の方向性　⑤ 学びを支えるしくみ

他都市参考事例

通信制 遠隔教育 北海道有朋高等学校

通信制と定時制（三部制・単位制）を併設し、生徒一人ひとりの生活環境や学習状況に応じた柔軟な学びを提供。通信制は、道内各地の32校のスクーリング**協力校**に通いながらの単位修得が可能。また、**遠隔授業の配信機能**を集中化した北海道高等学校遠隔授業配信センターもあわせて設置し、遠隔地の小規模校等への遠隔授業も実施。

中高一貫 横浜市立 横浜サイエンスフロンティア高等学校

単位制・理数科の併設型中高一貫校。先端分野の実験室20室をはじめ、ホール、天体観測ドームなど**大学並みの研究設備**を備える。**独自科目「サイエンスリテラシー」**を設定し、生徒全員が科学論文の読解や課題研究、先端科学技術分野を体系的に学習。大学・研究機関との共同研究、海外研修、国際共同研究を通じて、**世界で活躍する科学技術人材**を育成。

学びの多様化 大阪府教育センター附属高校 窓明分校

全国初の**教育センター附属高校の分校**として、他の府立高校に在籍している１年生、２年生の不登校または不登校傾向にある生徒を受け入れる**学びの多様化学校**（不登校特例校）を設置。従来の教科・科目に加え、**心を癒し育む科目、興味を見つけ深める科目**など、**不登校生徒に配慮したカリキュラム**を実施する。

学びの多様化 中高一貫 愛知県立 日進高等学校

附属中学校として学びの多様化学校を設置し、高校に**学びの多様化コース**を設置する**中高一貫校**。主に不登校経験のある生徒を対象に、授業時間数を軽減するなど、安心して学べる環境とゆとりある学びや、個々の学習到達度に応じた学び、社会性を育む体験的な学びに取り組む。